

受賞コメント



優秀賞

『二人目の父』

NGUYEN DINH QUOC BAO

- 国 籍：ベトナム
- 入 国 日：2019年12月19日
- 受入れ企業：F 株式会社
- 受入れ組合：協同組合関西技術協力センター

★受賞した今の気持ち

ありがとうございます作文で、初めて優秀賞を頂いて本当に嬉しかったです。ありがとうございます作文を書いた際に自分の感謝の気持ちを全部出して書きましたので、優秀賞が頂ける事は思いもよらなかったです。表彰状を与えられた際の気持ちは、今でもまだ忘れることができません。組合の方が文章の気持ちに感動して頂いて、今回の優秀賞に選んでくださって、誠にありがとうございました。

★この題材を選んだ理由

初めて家族と離れてしまって、全く知らない異国にやってきて、生活から仕事まで色々な困りごとを助けていただいたお父さんみたいな人なので、すごくありがたみを感じて「二人目の父」という題名に致しました

★これからの目標・夢

現在の目標は、日本語能力試験のN1に向けて合格できるように頑張りたいです。また、通訳者になる夢のため、会社を続けてさまざまな日本語を習得して、仕事から得られる技術と知識をもっと蓄積していきたいと思います。

＜受入れ企業様からのコメント＞

私にとってバオさんの、この度の受賞は大変誇りに思います。《おめでとう  祝》

この作文を見て改めて字がキレイなあとと思いました。

読んでもらう相手を思う気持ちや一文字一文字丁寧に書こうとする努力は、今後の日本での生活で高く評価されるポイントだと思います。

今に満足せず努力は続けてください。応援しています。

(記入者：設備管理グループ 課長 R 様)

優秀賞

『二人目の父』

NGUYEN DINH QUOC BAO

私はバオでございます。フジプレミアム株式
会社で実習生として働いています。日本に來
てから、もう一年以上経ちました。いつの間
にか時間は流れてしまったようです。この間
に、色々な事を助けてくださっている松村さ
んについて、心を込めて「ありがとう作文」
を書きたいと思います。

初めて会社に入って、会社の出荷場で委ね
られて、その職場で作業している松村さんが
います。挨拶の後、私たちは一緒に働き始め
ました。毎日会社に來て、松村さんが次の新
しい仕事を教えてくださいました。その時、
色々な仕事はまだ慣れていなかったのので、た
まにミスをして、松村さんから優しくても
う一度ご指導をいただきました。仕事以外、
松村さんに私の生活と私の家族も感心されて
いました。「家族が恋しいですか。両親が元
気ですか。日本の生活はどうですか。大変な
事がありますか。あったら、私に言ってくだ
さいね。。。 」と聞かれました。日本に來て

から、日本人に初めて聞いた心温まる言葉で
した。私は私の家族について松村さんに語っ
てあげて、私の父は松村さんと同じ年です。
しかし、残念でしたが、私は日本に来る前の
一ヶ月ぐらい父が亡くなってしまいました。
そんな話を聞いたら、松村さんは悲しそうな
顔が現れました。ちょっと黙って、松村さん
は「本当に残念ながら何しろ頑健にして、も
っと頑張ってくださいね。バオ君は成長でき
て、色々な成功があって帰国したら、バオ君
のお母さんはすごく幸せで嬉しいはずなん
です。」と言いました。そんな言葉を聞いて、
いつの間にか、私の目から涙がこぼれてしま
いました。それ以来、私は松村さんを二人目
の父として見ました。

私の住んでいる場所はスーパーもないし、
コンビニもないし、不便なので、松村さんが
よく遠い所へ買い物とか、遊びとかに連れて
行ってくださっています。よく日本語と日本
の文化を教えてくださいている人です。そし

て、私の誕生日の時、好きなだけ焼肉をおご
ってくださいました。幸せで、嬉しいことに
、家族と離れていて、全く知らない異国にや
ってきて、そんな愛を受け取っていただいて
、本当に感謝の気持ちを持っています。

将来、松村さんと別れて、地元に戻る事を
思ったら、すごく悲しいです。私の感謝は言
葉で表しがたくて、胸の中に感謝の言葉を申
し上げたいと思います。誠に、ありがとうご
ざいます。。。